



Webから加入申込書が作成できるようになり便利になりました。お申込みは組合経由で!



左記二次元コードをスマートフォンやタブレット端末のカメラや二次元コードリーダーで読み取ることで、UAゼンセン共済ホームページへ簡単にアクセスいただけます。また、各共済ページからは、パンフレットもダウンロードいただけます。

I. 海溝型地震

首都直下地震や南海トラフ巨大地震だけじゃない!

地震大国日本

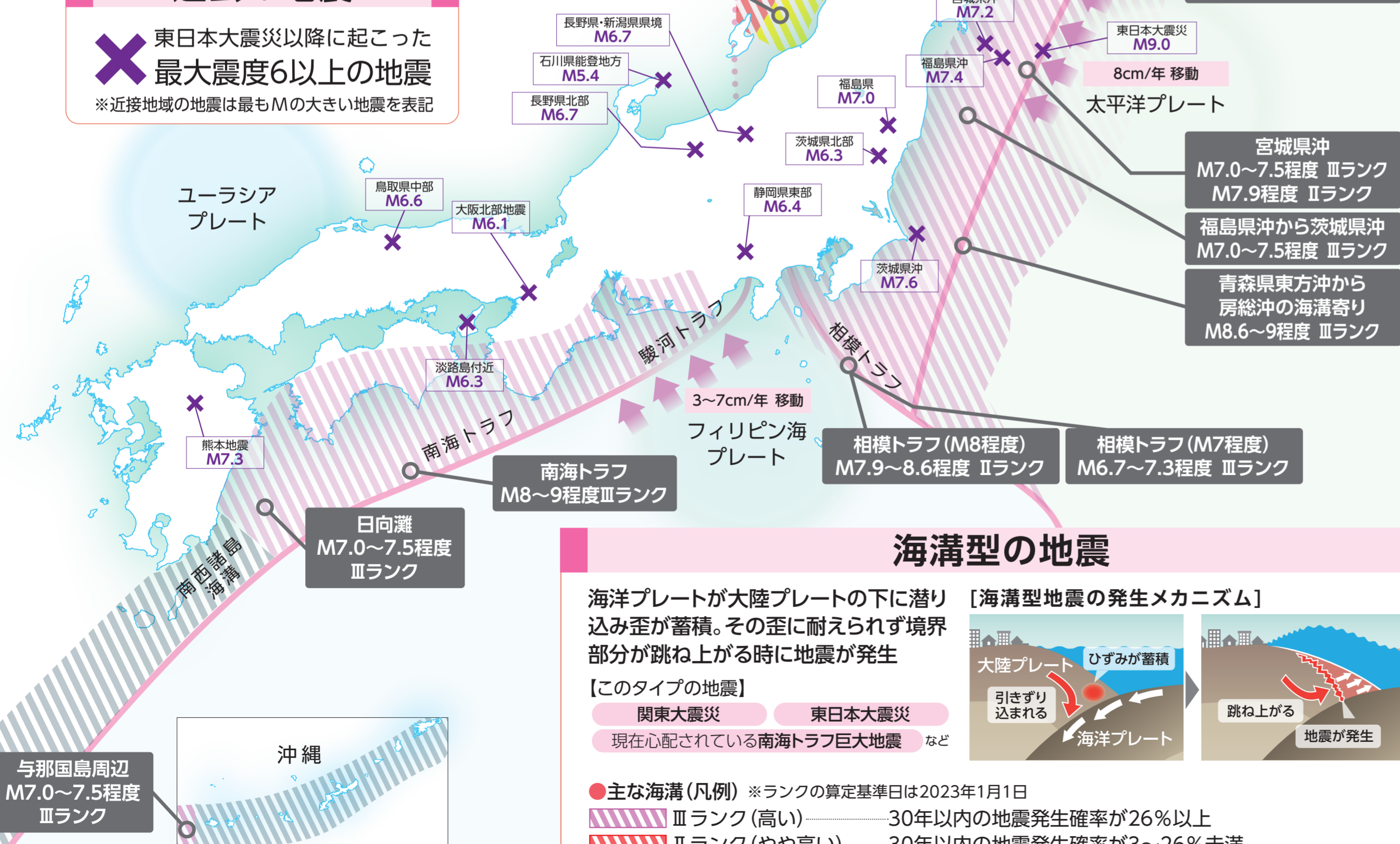
身近な地震に備える準備を!

今年に入り、2月は釧路沖(標津町・根室市)、5月は石川県能登地方(珠洲市)と千葉県南部(木更津市)など、頻発する震度5以上の地震。

日本は、どこで地震が起きてもおかしくありません。災害への備え、避難の準備を万全におきましょう。

過去の地震

東日本大震災以降に起こった最大震度6以上の地震 ※近接地域の地震は最もMの大きい地震を表記



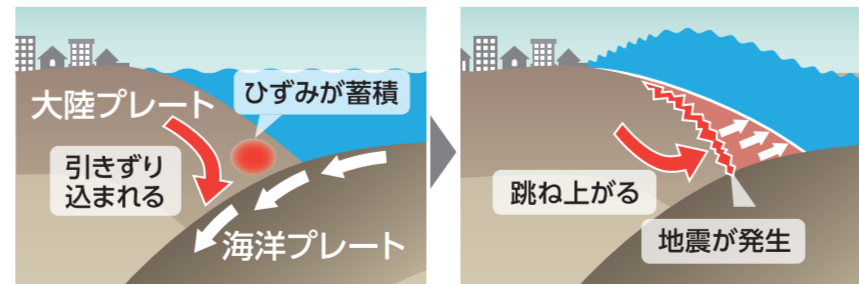
海溝型の地震

海洋プレートが大陸プレートの下に潜り込み歪が蓄積。その歪に耐えられず境界部分が跳ね上がる時に地震が発生

【このタイプの地震】

- 関東大震災 東日本大震災 現在心配されている南海トラフ巨大地震 など

【海溝型地震の発生メカニズム】



- 主な海溝(凡例) ※ランクの算定基準日は2023年1月1日
■Ⅲランク(高い) 30年以内の地震発生確率が26%以上
■Ⅱランク(やや高い) 30年以内の地震発生確率が3~26%未満
■Ⅰランク 30年以内の地震発生確率が3%未満
■Ⅹランク 地震発生確率が不明(過去の地震のデータが少ないため確率の評価が困難)
※いずれのランクも、すぐに地震が起こることが否定できない。

特集1

今後想定される巨大地震のひとつ 「南海トラフ巨大地震」

どんなことが想定されている?

日本列島の太平洋沖「南海トラフ」沿いの広い震源域で連動して起こると警戒されているマグニチュード9クラスの巨大地震。発生確率は不明とされています。

南海トラフ地震【被害想定】

(注)国は2023年度末までに、死者を8割、全壊する建物を半分ほどに減らすなどとする「減災目標」を定め、2024年春をめどに公表から10年余りがたった被害想定を見直す方針です。

死者

最大約**32万3,000人**

全壊・焼失棟数

最大約**238万6,000棟**

経済的被害

約**214兆円** (資産等の直接被害約169兆円、生産・サービス低下による被害約45兆円)

出典:内閣府HP「南海トラフ巨大地震の被害想定について第一次報告」(https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/20120829_higai.pdf)、第二次報告(https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/20130318_kisha.pdf)の資料をもとにUAゼンセン作成

南海トラフ地震【想定される津波】



最大で**30m**を超えると予想されているところも



0.2m程度でも...

0.2m以上の津波が想定された場合に、気象庁が「津波注意報」を発表するように、20cm程度でも人は流れに巻き込まれる恐れがあります。強い揺れを感じたら避難しましょう。

南海トラフ地震では、強い揺れと共に津波の発生が想定されています。

出典:内閣府HP「防災情報のページ」(https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku/pdf/1_2.pdf)(https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/shiryo.pdf)、気象庁HP「津波について」(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/faq/faq26.html#tsunami_3)の資料をもとにUAゼンセン作成

発生形態が多様

同じ震源域で発生した過去の地震から発生ケースが多様であることがわかります。

南海トラフ地震：想定される4つの発生ケース

全割れ	半割れ	一部割れ	局所割れ
南海トラフの想定震源域の広い範囲が破壊され被害が出る。	南海トラフの想定震源域のうち破壊されていない領域があり、大きな被害が出ている地域と、まだ被害が出ていない地域がある。	南海トラフの想定震源域のうち狭い領域のみが破壊され、被害が出ている地域は限られた範囲。	破壊はごく限られた領域のみ。被害はほとんどない。

- ⚠被害が出ていなくても、隣接領域で大規模地震が発生する可能性がある。
- ⚠すでに被害の出た地域は、地震の後に再び地震に襲われることを想定する必要がある。

- 過去の発生ケース
1707年【宝永地震】...東西で地震が発生 **全割れ**
1854年【安政東海地震・安政南海地震】...東側で地震発生32時間後に西側で地震発生 **半割れ**
1944年【昭和東南海】・1946年【昭和南海地震】...東側で地震発生2年後に西側で地震発生 **半割れ**

出典:内閣府HP「防災情報のページ」(https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/h301017shiryu04.pdf)、気象庁HP「南海トラフ地震について」(https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/symposium/02/fig/kouen_kochi_1.pdf)の資料をもとにUAゼンセン作成

(※)詳細内容については、地震調査研究推進本部HP(https://www.jishin.go.jp/)、内閣府防災情報HP(https://www.bousai.go.jp/)をご参照ください。



Webから加入申込書が作成できる
ようになり便利になりました。
お申込みは組合経由で!



左記二次元コードをスマートフォンやタブレット
端末のカメラや二次元コードリーダーで読み取る
ことで、UAゼンセン共済ホームページへ簡単にア
クセスいただけます。また、各共済ページからは、
パンフレットもダウンロードいただけます。

Ⅱ.活断層地震

活断層の地震

海洋プレートの動きにより大陸プレート内に歪が蓄積。
その歪が限界に達した時に活断層がズレて地震が発生

【このタイプの地震】

- 阪神・淡路大震災
- 新潟県中越地震
- 熊本地震
- 大阪北部地震
- 現在心配されている首都直下地震 など

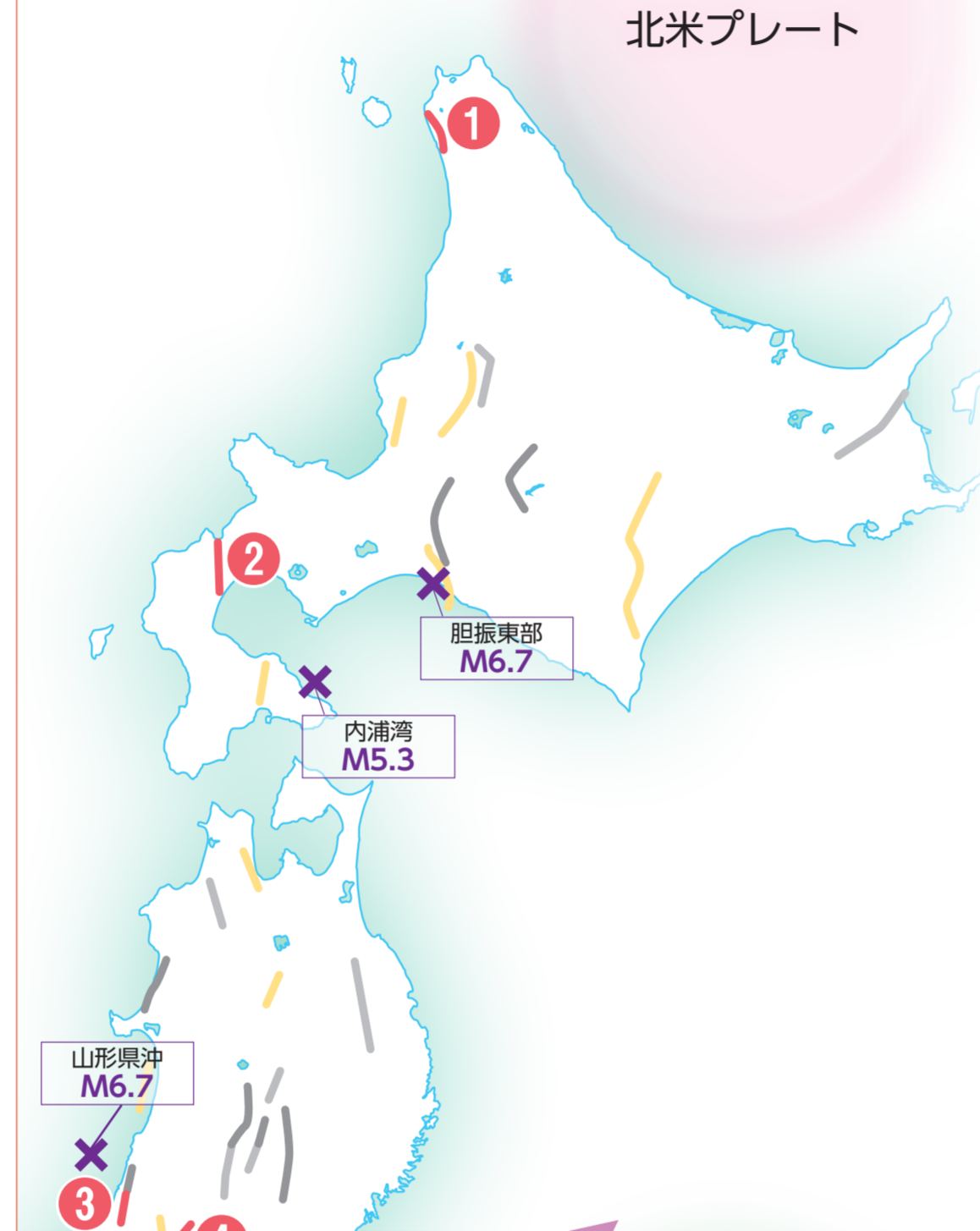
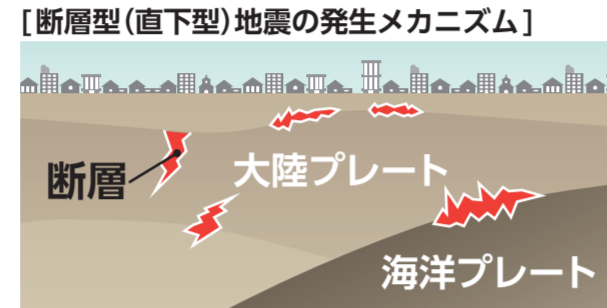
●主な活断層(凡例) ※ランクの算定基準日は2023年1月1日

- Sランク(高い) 30年以内の地震発生確率が3%以上
- Aランク(やや高い) 30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満
- Zランク 30年以内の地震発生確率が0.1%未満
- Xランク 地震発生確率が不明(過去の地震のデータが少ないため確率の評価が困難)

※いずれのランクも、すぐに地震が起こることが否定できない。

次の①~⑩は、Sランクの断層帯となります。(※⑩は参考)

名称	地震の規模	名称	地震の規模
① サロベツ断層帯	M7.6程度	⑩ 糸魚川-静岡構造線断層帯	中部 M7.7程度
② 黒松内低地断層帯	M7.3程度以上	⑪ 高山-大原断層帯	北部 M7.7程度
③ 庄内平野東縁断層帯	南部 M6.9程度	⑫ 糸魚川-静岡構造線断層帯	中北部 M7.6程度
④ 新庄盆地断層帯	東部 M7.1程度	⑬ 糸魚川-静岡構造線断層帯	中南部 M7.4程度
⑤ 山形盆地断層帯	北部 M7.3程度	⑭ 境峠-神谷断層帯	主部 M7.6程度
⑥ 榊山断層帯	M6.8程度	⑮ 阿寺断層帯	主部:北部 M6.9程度
⑦ 高田平野断層帯	高田平野東縁断層帯 M7.2程度	⑯ 木曾山脈西縁断層帯	主部:南部 M6.3程度
⑧ 十日町断層帯	西部 M7.4程度	⑰ 三浦半島断層群	主部:武山断層帯 M6.6程度 もしくはそれ以上
⑨ 砺波平野断層帯・呉羽山断層帯	砺波平野断層帯東部 M7.0程度 呉羽山断層帯 M7.2程度	主部:衣笠-北武断層帯 M6.7程度 もしくはそれ以上	
⑩ 森本-富樫断層帯	M7.2程度		
⑪ 高山-大原断層帯	国府断層帯 M7.2程度		
⑫ 糸魚川-静岡構造線断層帯	北部 M7.7程度		
⑬ 糸魚川-静岡構造線断層帯	中北部 M7.6程度		
⑭ 境峠-神谷断層帯	主部 M7.6程度		
⑮ 阿寺断層帯	主部:北部 M6.9程度		
⑯ 木曾山脈西縁断層帯	主部:南部 M6.3程度		
⑰ 三浦半島断層群	主部:武山断層帯 M6.6程度 もしくはそれ以上		
⑱ 塩沢断層帯	M6.8程度以上		
⑲ 富士川河口断層帯	M8.0程度		
⑳ 奈良盆地東縁断層帯	M7.4程度		
㉑ 上町断層帯	M7.5程度		
㉒ 琵琶湖西岸断層帯	北部 M7.1程度		
㉓ 中央構造線断層帯	石鐘山脈北縁西部 M7.5程度		
㉔ 安芸灘断層帯	M7.2程度		
㉕ 穴道(鹿島)断層	M7.0程度 もしくはそれ以上		
㉖ 弥栄断層	M7.7程度		
㉗ 菊川断層帯	中部 M7.6程度		
㉘ 周防灘断層帯	主部 M7.6程度		
㉙ 福岡山断層帯	M7.2程度		
㉚ 豊岡断層帯	南東部 M7.2程度		
㉛ 雲仙断層群	南西部:北部 M7.3程度		
㉜ 日奈久断層帯	八代海区间 M7.3程度		
㉝ 日奈久断層帯	日奈久区間 M7.5程度		
㉞ 六甲-淡路島断層帯	阪神・淡路大震災時に活動		



過去の地震

✕ 東日本大震災以降に起こった
最大震度6以上の地震
※近接地域の地震は最もMの大きい地震を表記

特集2

関東大震災から100年。忘れてはならない「首都直下型地震」

想定と発生確率

東京都周辺の首都圏に最大級の被害をもたらす可能性のある
マグニチュード7クラスの大地震。
今後30年以内に70%の確率で起こるとされています。

首都直下型地震【被害想定】

死者

最大約2万3,000人

全壊・焼失棟数

最大約61万棟

経済的被害

約95兆円

資産等の直接被害約 約47兆円
生産・サービス低下による被害 約48兆円

出典：内閣府HP「首都直下地震の被害想定と対策について(最終報告)」(https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/taisaku_wg/pdf/syuto_wg_report.pdf)の資料をもとにUAゼンセン作成

地震に対する10の備え

身の安全の備え

- 1 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう
- 2 けがの防止対策をしておこう
- 3 家屋や塀の強度を確認しておこう

初動対応の備え

- 4 消火の備えをしておこう
- 5 火災発生の早期発見と防止対策をしておこう
- 6 非常用品を備えておこう

確かな行動の備え

- 7 家族で話し合っておこう
- 8 地域の危険性を把握しておこう
- 9 防災知識を身に付けておこう
- 10 防災行動力を高めておこう

出典：東京消防庁「地震に対する10の備え」をもとにUAゼンセン作成



被災した場合の **経済的な備え** もしっかりと準備しておきましょう!

Q 地震の影響で自宅が火災になった場合、火災保険で補償されますか?

A 木造住宅が集中しているエリアでは、地震発生に伴う火災が懸念されます。しかし、民間の火災保険は、地震保険に加入していない限り、地震が原因の火災は補償されません。

一方、住宅あんしん共済は、はじめから地震火災も保障の対象(基本+自然災害特約)となっており、地震が原因の火災にも備えられるようになっています。

(※) 詳細内容については、地震調査研究推進本部HP (http://www.jishin.go.jp/)、内閣府防災情報HP (http://www.bousai.go.jp/) をご参照ください。